

# 経済・金融 フラッシュ

## 米3月ISM指数:製造業指数 は上昇も非製造業は低下

経済調査部門 主任研究員 土肥原 晋

TEL:03-3512-1835 E-mail: doihara@nli-research.co.jp

米3月ISM指数は製造業が53.4と前月から上昇、半面、非製造業では56.0と低下した。製造業指数は市場予想を上回ったが、非製造業では下回った。もっとも、水準ではなお非製造業指数が上回っており、昨年夏にかけて落ち込んだ企業センチメントの立ち直り局面では、非製造業の回復が先行している。また、3月の指数の内訳を見ると、製造業では、生産、雇用指数といった主要構成指数が上昇、回復の動きを主導しており、非製造業では、事業活動、雇用指数といった主要構成指数が低下したものの、雇用指数が高水準を保ち、雇用回復への期待を強めている。

### 1、製造業指数が53.4と上昇の一方、非製造業指数は56.0と低下

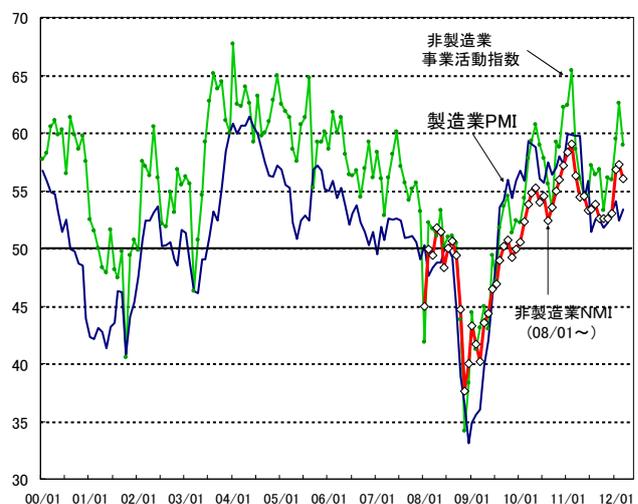
企業のセンチメントを示すISM(米供給管理協会)指数は、**3月製造業指数(PMI)**が53.4と前月(52.4)比で1.0ポイント上昇、市場予想(53.0)を上回ったが、前月に▲1.7ポイント下落していたため、昨年6月(55.8)以来の高水準となった1月の54.1には届かなかった。また、PMIが示す製造業の分かれ目となる50は、32ヵ月連続で上回った。

PMIは金融危機後の2008年12月に33.1とリセッション時のボトムを記録した後、2009年8月には50台を回復、昨年1月には59.9とリセッション後の最高値をつけた。その後低下したものの10月の51.8をボトムに上向きに転じている。

3月PMIの構成指数を含めた10指数を見ると、前月比で下落したのは受注など6指数で、その他4指数が上昇した。なお、発表元のISMでは、過去のデータから見たPMIが示す経済全体の分かれ目(GDPのゼロ成長)は42.6であり、3月水準(53.4)は実質GDPの年率3.7%に対応する水準としている。

一方、**3月非製造業指数(NMI)**は56.0、前月比▲1.3ポイントの低下、市場予想(56.8)を下回ったが、非製造業の業況の分かれ目となる50は27ヵ月連続で上回った。NMIは昨年11月に最近のボトム(52.6)をつけて以降、2月には57.3まで回復を見せていた。3月のNMIを除く

(図表1) ISM指数の推移(月別)



(資料) Institute for Supply Management、以下も同じ。

10 指数の動きを見ると、3 指数が上昇し6 指数が下落した。また、指数全体での最高値は価格指数の 63.9、最低値は受注残高・入荷遅延の 49.5 だった。

製造業 (PMI) と非製造業 (NMI) の動きを比較すると、リセッション後の 2009 年 7 月以降昨年 4 月までは PMI が NMI を上回り、製造業のセンチメント回復が先行したが、これには、非製造業に住宅バブル崩壊や金融危機等の影響が大きい金融、建設・不動産、個人消費関連産業等が含まれていることが大きかった。ただし、昨年夏場の景気減速で企業センチメントが悪化した後の立ち直り局面では、NMI の回復が先行する状況となっている。

### (各指数別の動向)

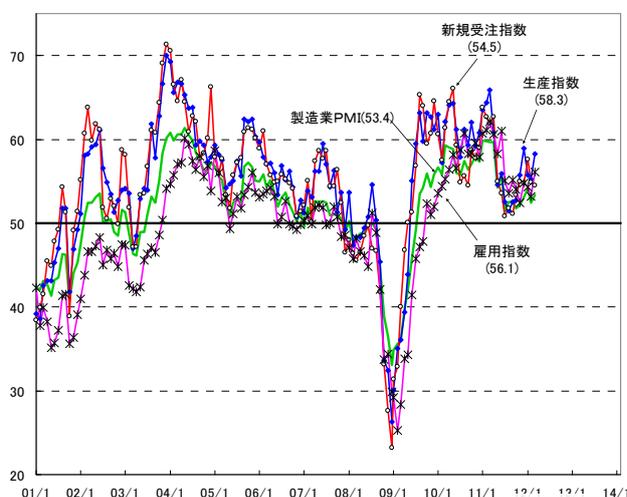
## 2、製造業主要指数では、生産・雇用指数が改善

PMI の構成 5 指数 (新規受注、生産、雇用、入荷遅延、在庫) では、生産が 58.3 と前月比 3.0 ポイント、雇用が 56.1 と同 2.9 ポイント、在庫が 50.0 と同 0.5 ポイント上昇した。半面、下落は、新規受注が 54.5 (同▲0.4 ポイント)、入荷遅延が 48.0 (同▲1.0 ポイント) となった。

3 月の上昇で生産指数が 3 ヶ月ぶり、雇用指数が 9 ヶ月ぶりの高水準となり、この両指数は全体でも価格指数 (61.0) について 2・3 番目の高水準となった。

構成指数以外の指数では、輸出指数が同▲5.5 ポイント低下、顧客在庫指数が同▲1.5 ポイント低下するなど 4 指数が低下、上昇は受注残指数の 0.5 ポイントのみだった。製造業の各指数は、全般的には小幅の動きが多い中、生産・雇用指数の改善が目立った。

(図表2) 製造業 PMI と主要構成指数の推移



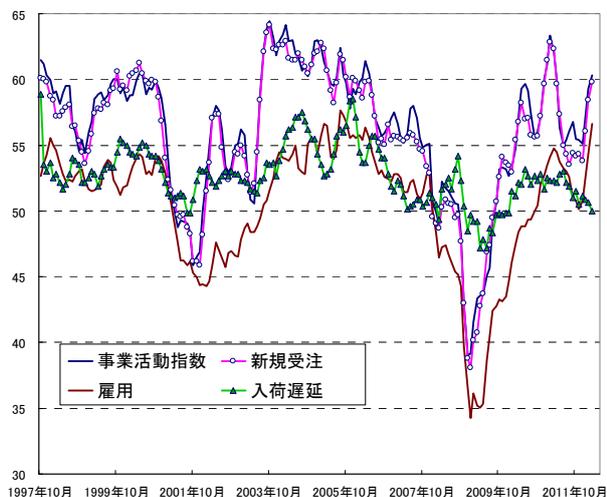
注：月別、( ) 内の数値は 2012 年 3 月値

## 3、非製造業各指数では全般的に低下が多い中、雇用指数が上昇

3 月非製造業各指数の動きを見ると、総合指数 (NMI) を構成する主要 4 指数 (事業活動、新規受注、雇用、入荷遅延) では、事業活動指数が 58.9 と前月比▲3.7 ポイント、新規受注指数が 58.8 と▲2.4 ポイント低下した一方、雇用指数が 56.7 と 1.0 ポイント上昇、入荷遅延指数が 49.5 と横ばいだった。事業活動指数、新規受注指数等の主要指数の低下は気がかりであるが、半面、昨年 12 月まで 50 前後で推移していた雇用指数が、今年に入って以降 55 以上の高水準を保つなど、雇用者の大半を抱えるサービス業の雇用が回復していることを示唆するなど、好ましい動きも窺える。非製造業の雇用に占める位置づけが大きいことから、今後の雇用統計との関連が注目される。

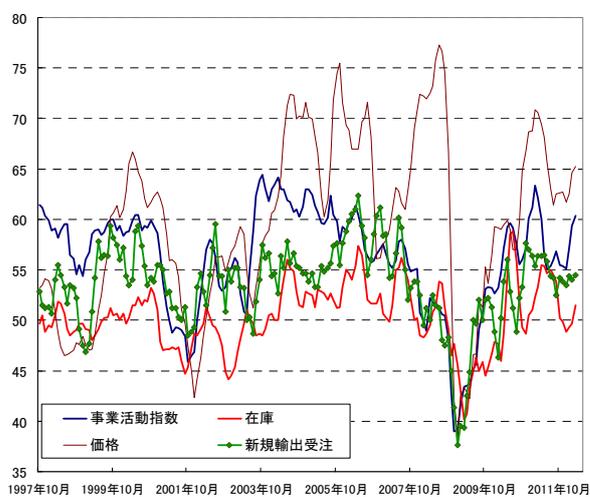
その他の指数では、輸入指数が 56.0 (前月比 4.0 ポイント) と上昇が大きかったのを除くと押し並べて低下を見せた。価格指数が 63.9 と同▲4.5 ポイント、受注残指数が 49.5 と同▲3.5 ポイント、在庫センチメントが 58.5 と同▲3.0 ポイント、輸出受注指数が 52.5 と同▲2.0 ポイント、等の下落を見せ、低下幅も比較的大きかった。

(図表3) I S M非製造業各指数の推移(その1)



注：3ヵ月移動平均

(図表4) I S M非製造業各指数の推移(その2)



注：3ヵ月移動平均

(図表5) I S M指数の各指数別の推移

	製造業指数																	2-3月 変化幅
	10年 11月	12月	11年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	
P M I	58.0	57.3	59.9	59.8	59.7	59.7	54.2	55.8	51.4	52.5	52.5	51.8	52.2	53.1	54.1	52.4	53.4	1.0
新規受注	57.8	59.0	63.8	62.7	61.9	62.7	55.0	53.6	50.8	51.8	51.1	53.4	55.0	54.8	57.6	54.9	54.5	▲ 0.4
生産	59.2	60.8	63.5	64.4	65.9	60.8	54.6	55.9	52.5	51.5	52.5	52.7	55.7	58.9	55.7	55.3	58.3	3.0
雇用	59.6	57.9	60.7	61.1	62.1	60.6	58.3	61.0	55.1	53.6	55.2	54.0	52.4	54.8	54.3	53.2	56.1	2.9
入荷遅延	59.5	58.6	59.3	60.1	59.8	59.7	54.4	55.2	50.6	51.2	51.6	52.2	51.3	51.5	53.6	49.0	48.0	▲ 1.0
在庫	54.0	50.0	52.0	50.5	49.0	54.5	48.5	53.5	48.0	54.5	52.0	46.5	46.5	45.5	49.5	49.5	50.0	0.5
顧客在庫	45.5	40.0	45.5	40.0	39.5	40.5	39.5	47.0	44.0	46.5	49.0	43.5	50.0	42.5	47.5	46.0	44.5	▲ 1.5
価格	69.5	72.5	81.5	82.0	85.0	85.5	76.5	68.0	59.0	55.5	56.0	41.0	45.0	47.5	55.5	61.5	61.0	▲ 0.5
受注残高	46.0	47.0	58.0	59.0	52.5	61.0	50.5	49.0	45.0	46.0	41.5	47.5	45.0	48.0	52.5	52.0	52.5	0.5
輸出	57.0	54.5	62.0	62.5	56.0	62.0	55.0	53.5	54.0	50.5	53.5	50.0	52.0	53.0	55.0	59.5	54.0	▲ 5.5
輸入	53.0	50.5	55.0	55.0	56.5	55.5	54.5	51.0	53.5	55.5	54.5	49.5	49.0	54.0	52.5	54.0	53.5	▲ 0.5
	非製造業指数																	
N M I	55.9	57.2	58.3	59.0	56.3	54.4	54.5	53.3	53.4	53.8	52.6	52.6	52.6	53.0	56.8	57.3	56.0	▲ 1.3
事業活動	58.8	62.2	62.4	65.4	58.6	56.0	54.5	54.5	57.2	56.4	56.8	53.3	56.1	55.9	59.5	62.6	58.9	▲ 3.7
新規受注	58.6	62.5	63.2	62.8	60.9	55.3	55.9	53.7	53.3	53.6	56.2	52.7	54.1	54.6	59.4	61.2	58.8	▲ 2.4
雇用	53.8	52.5	54.1	55.8	54.3	53.3	53.6	52.8	52.7	52.2	47.9	52.3	50.3	49.8	57.4	55.7	56.7	1.0
入荷遅延	52.5	51.5	53.5	52.0	51.5	53.0	54.0	52.0	50.5	53.0	49.5	52.0	50.0	51.5	51.0	49.5	49.5	0.0
在庫	51.5	52.5	49.0	55.5	55.5	55.5	55.0	53.5	56.5	53.5	51.5	45.5	52.5	48.5	47.0	53.5	54.0	0.5
価格	64.7	69.7	71.9	70.9	68.9	68.3	67.2	61.5	60.6	62.1	64.8	61.0	62.2	62.0	63.5	68.4	63.9	▲ 4.5
受注残高	51.5	48.5	50.5	52.0	56.0	55.5	55.0	48.5	44.0	47.5	52.5	47.0	48.0	45.5	49.5	53.0	49.5	▲ 3.5
新規輸出受注	59.5	56.0	53.5	56.5	59.0	53.5	57.0	57.0	49.0	56.5	52.0	54.0	55.5	51.0	56.5	54.5	52.5	▲ 2.0
輸入	54.5	51.0	53.5	53.5	50.0	57.0	50.5	46.5	47.5	53.5	47.5	48.0	48.5	54.0	55.0	52.0	56.0	4.0
在庫センチメント	60.0	61.5	60.0	57.5	67.0	57.5	55.0	58.5	59.5	56.0	59.0	57.5	63.0	59.5	58.5	61.5	58.5	▲ 3.0

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。